

日本共産党 姫路市会議員団

市会報告 2017年 第3回定例会

議員団控室 姫路市安田4-1 TEL 221-2046 FAX 284-5890

メール info@jcp-himeji.com

共産党姫路 検索



谷川
まゆみ

谷川まゆみ 検索

ブログ



森
ゆき子

森ゆき子 検索

ブログ



苦瓜
かずしげ

苦瓜かずしげ 検索

ブログ

49年連続の

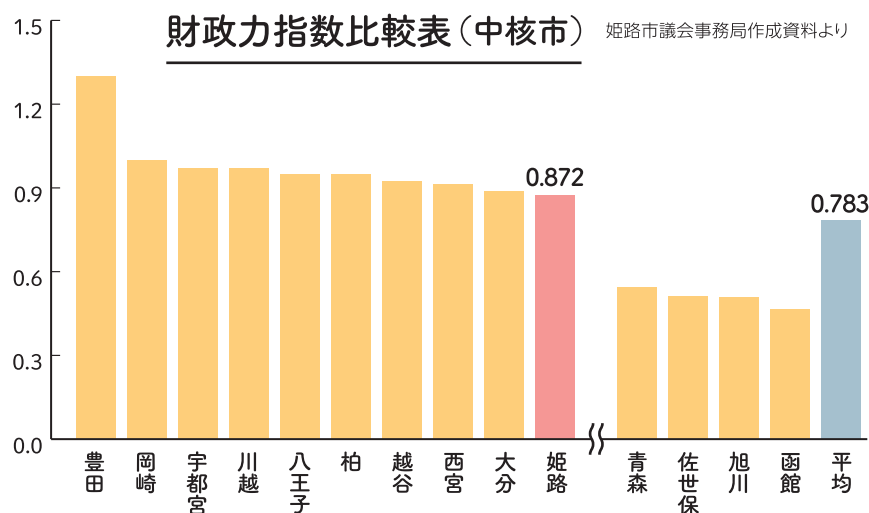
黒字決算は 評価できるのか？

姫路市の平成28年度一般会計決算は、実質収支55億6,325万円の黒字決算で、黒字は49年も連続しています。自治体の黒字決算は家計の黒字と同様に評価される性質のものではなく、市民の負担した税などの収入がしっかり市民に還元されたかどうかという観点も重要です。

自治体の財政基盤の強さを現す「※財政力指数」は中核市48市中10番目で平均の0.783を大きく上回る0.872となっています。また、目的別の決算額は民生費の占める割合が中核市平均を下回る一方、土木費が中核市平均11.7%のところ15.2%と大きく上回っています。総支出の0.15%の約3億1千万円を民生費に廻せば、こども医療費の所得制限を取り払うこともできる訳ですから、もっと予算を住民の暮らしと福祉に使うべきで、自治体の役割である住民福祉の増進を図るという決算になっていないという理由などで、議員団は平成28年度一般会計決算認定に反対しました。

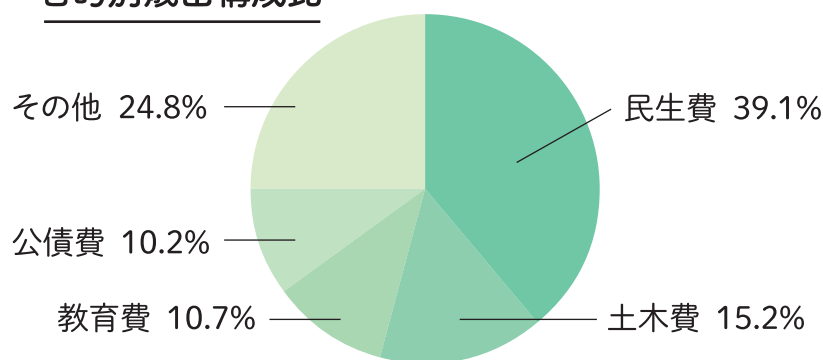
財政力指数比較表（中核市）

姫路市議会事務局作成資料より



※財政力指数とは、必要とする一般財源に対して、現実に収入される税収がどれだけあるかを示します。「1」に近いほど強いとされています。

目的別歳出構成比



2018年度 予算要望懇談会を開催

去る7月28日、労働会館に於て2018年度の予算要望懇談会を開催され、参加者からは、市政に対する幅広い要望が出されました。これらの要望は、10月25日から始まる各局との予算編成に対する会派要望で取り上げていきます。また、長年要望してきた中学校給食(北部エリア)は、来年度から正式にスタートする運びになっています。南部エリアは、2年遅れの予定です。



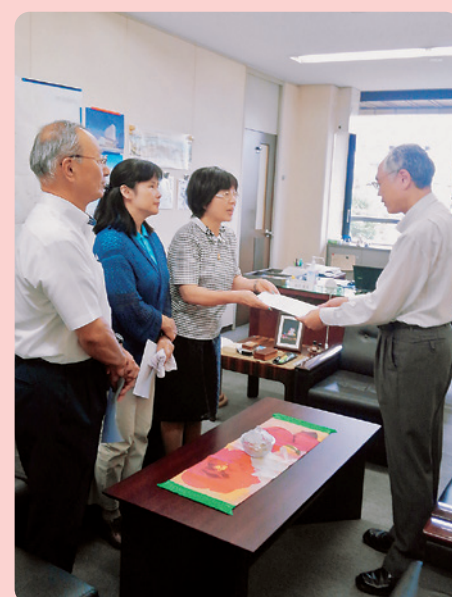
市民から要望を受ける市議団と入江県議

北朝鮮核実験に対する抗議を 求める申し入れ

北朝鮮は9月3日6回目の核実験を強行しました。これは、国連安保理決議、6か国協議の共同声明、日朝平壤宣言にも違反する暴挙です。

姫路市議団は北朝鮮による核実験強行の暴挙について、非核平和宣言都市を表明し、平和首長会議に加盟している姫路市長として、姫路市民を代表して北朝鮮に対し、この暴挙を糾弾し厳重な抗議を行うことを書面で申し入れました。

市長公室長に申し入れる市議団



「核兵器禁止条約」の署名を国に求めよ

7月7日、122か国の国連加盟国により採択された「核兵器禁止条約」は「核兵器の使用禁止」と「核抑止論の否定」などが明文化されています。市長が初めて参加した平和首長会議総会では、この条約の採択の通り、核兵器廃絶にむけ1日も早く条約に批准するよう各国政府に求めることが特別決議されています。①核兵器禁止条約について②平和首長会議総会に参加した目的と発言内容などについて、石見市長の見解を求めました。市長から①核兵器禁止条約の採択はよかった②平和首長会議では太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔の持つ意義「不戦の誓い」を広め、平和を守るための警告碑であることを報告したとの答弁がありました。

市の責任で、住み続けられるまちづくりを

姫路市は少子高齢化・人口減少対策として、「立地適正化計画」の策定に向け、商業・子育て・医療・福祉などの都市機能増進施設の集約をはかり、そこを「都市機能誘導区域」として中心拠点に設定しようとしています。さらに中心拠点へアクセスが容易な地域を「居住誘導地域」に設定する予定です。バスや鉄道などの公共交通が行き届かない地域住民は、公共サービスから取り残されるため、①「居住誘導」を促す「立地適正化計画」は、住みたい地域に住める権利を奪うのではないかと。②神姫バスに、便数や路線の改善を求め、市の責任でコミュニティバスの検討ができないか、見解を質しました。①居住誘導で転居を強制するような形にはしない②公共交通空白地域から優先的にコミュニティバスを検討・実施する。神姫バスとは懇談の機会を持つ、との答弁がありました。引き続き住み慣れた地域に住み続けられるよう、公共交通の改善を求めていきます。



認定こども園は保育所型へ移行

私立認定こども園「わんずまぎー」保育園の法令違反問題で兵庫県は、県内の認定こども園400園すべてに緊急調査を行いました。その結果、認可・認定規準上問題があり、改善が必要な25施設を公表しましたが、そのうち13施設が姫路市の施設でした。そのため、市民から信頼される保育行政の推進を求めました。また、認定こども園の「地方裁量型」は、導入しないことを求めました。

答弁 各施設が認可規準を確実に満たし、保育所型へ移行できるよう指導していきたい。

子ども家庭総合支援拠点の設置に向け検討

1歳児虐待事件への姫路市の対応の遅れについて、その要因や再発防止策について質しました。

答弁 情報共有を図り、関係機関連携のもと、組織的な初期対応が必要だった。子ども相談室の体制強化を行い、子ども家庭総合支援拠点の設置に向け検討を進めている。関係機関が一体となり、子どもの最善の利益のため、再発防止に努める。

文化コンベンションセンターは市民の文化・芸術活動の拠点に

文化コンベンションセンターについては、現在実施設計が行われており、9月議会に於て外観デザインの考え方が示されました。施設デザインは、大小のフライタワーで姫路城の連立天守閣を連想させ、屋上は、新幹線等からの見え方も想定し緑化するなどとしています。

デザインも大事ですが、周辺の交通渋滞の懸念や、運営管理においても、国際文化振興財団がこれまで市民や文化団体と培ってきた経験をどう生かしていくのかが問われています。今後も市民等への情報公開を行い、意見を反映させ、市民のための文化・芸術活動の拠点となるよう求めていきます。



■整備スケジュール

2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
基本計画	基本設計	実施設計	建設工事			

(仮称) 姫路市文化コンベンションセンターについて | 姫路市HP

力をあわせ
頑張ります



団長

谷川まゆみ

- 総務委員会
- イベントゾーン整備特別委員会



幹事長

森ゆき子

- 経済観光委員会 (副委員長)



団員

苦瓜かずしげ

- 厚生委員会
- 議会運営委員会
- にしはりま環境事務組合議員